

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372100731
事業所名	グループホーム 葵

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、情報を得て地域の防災訓練や資源回収、下水の掃除などに参加をしたり、散歩時には、挨拶を交わすなどして地域の一員として日常的な交流をしている。地域の祭りでは、子ども獅子や神輿が立ち寄り昔を懐かしんでいる。事業所の夏祭りやクリスマス会には、子ども会を招くなど地域の人々が参加しやすい環境作りに努めている。中学生や高校生、教員の職場体験を受け入れ社会貢献の場として提供している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や町内会の総代、民生委員、介護相談員、地域包括支援センター職員の参加を得て年6回実施している。事業所の運営状況や活動内容、ヒヤリハットや事故報告を行い、参加者からは地域の行事や情報の提供を受け意見交換をしている。参加者からの意見や提案等はその場で話し合ったり、記録して会議などで協議しサービスの向上に活かしている。家族には、個人情報保護のため議事録は送っていないが面会時に話すようにしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政担当窓口には、介護保険更新手続きや申請の代行業務、サービスの取り組みなどを伝えている。地域の困難事例の受け入れの依頼、施設の空き状況や入居状況などの話し合いを行うなど良好な協力関係を築いている。職員は市主催の研修会に積極的に参加し、サービス向上へ繋げるよう努めている。グループホーム部会に参加をし、人材育成に努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞きその都度検討している。毎月介護相談員が、入居者の様子や意見、要望などを「気づきノート」に記録し、月1回の勉強会で話し合い、情報を共有して運営に反映させている。家族からは面会時に意見や要望を聞き、「面会ノート」に記録したり、メールやラインで家族とコミュニケーションを取り意見を述べやすい環境を整えている。ブログを利用して入居者の日ごろの様子や行事の写真を掲載して家族に安心を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	